

第7次調査の概要

どこを（調査場所）



赤線は平成23(2011)年3月8日に国指定された範囲

いつ（調査期間）

平成4(1992)年3月2日～14日

だれが（調査した人）

赤坂遺跡調査団

調査概要

所在地 神奈川県三浦市初声町三戸字ハタ320番2
調査面積 100m²
調査原因 個人住宅建設に伴う調査
主な遺構 住居址1軒
主な遺物 礫弥生土器（深鉢形土器・壺形ミニチュア土器）礫・磨石
特記事項 住居址の壁溝部が僅かに2.5mほど検出され、住居址のプランを確認することができた。床面には石器の未成品と思われる礫とミニチュア土器が発見され、ピットからは宮ノ台期の深鉢形土器及び磨石が発見されていることから、この住居址は弥生中期に属すると考えられる。（参考文献：『三浦市埋蔵文化財調査報告書第3集・1994年8月』）



壺形ミニチュア土器(大きさ1cm)
(所蔵：赤坂遺跡調査団)



住居址の検出状況(所蔵：三浦市教育委員会)